

支部学術集会開催報告

第11回奈良支部学術集会

学術集会会長：近畿大学医学部奈良病院病院長 井上雅智



会場風景

2016年1月30日(土)に奈良県社会福祉総合センターにて第11回奈良支部学術集会を開催させていただきました。大

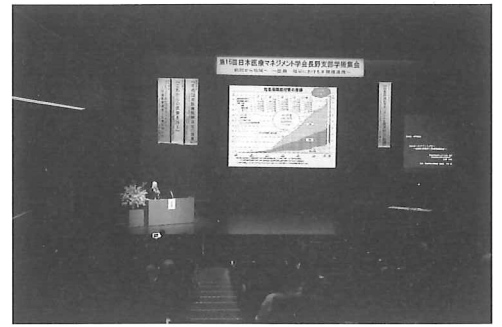
変寒い状況にもかかわらず360人を超す方々にご参加いただき、本学術集会が盛会の内に開催できましたこと深く感謝いたしております。今回の学術集会のテーマは地域連携促進を鑑み「地域でささえる医療」としました。特別講演は、地域でますます増加しております高齢者に対する医療について、日本における認知症に対する介護法の第一人者であられる国立病院機構東京医療センターの本田 美和子先生にユマニチュード®のご講演を賜りました。また、医療安全における地域ネットワークについて、近畿大学医学部附属病院安全管理部の辰巳陽一先生にご講演を賜りました。さらに教育講演として、ヘルスケアリレイションズの横田 元様に電子カルテあるいはオーダーリングシステムを用いた地域連携ネットワークシステムの構築についてご講演を賜りました。一般演題は70題の応募を頂き口頭発表あるいはポスター発表ともに非常に熱心な議論があり有意義な学術集会であったと存じ上げます。この度の学術集会が、ご参加頂きました皆様の今後の医療の一助になりましたら幸いに存じます。最後になりましたが、皆様のますますのご健勝と日本医療マネジメント学会奈良支部の更なる発展を祈りまして、開催の報告と御礼とさせていただきます。

第15回長野支部学術集会

学術集会会長：組合立諏訪中央病院病院長 濱口 實

2016年5月21日(土)茅野市民館を会場に、『病院から地域へ～医療・福祉における他職種連携～』をテーマとし、第15回日本医療マネジメント学会長野支部学術集会を開催しました。皆様のご協力により職種を超えた情報交換の場として、県内全域から約280名の方にご参加いただき有意義な学術集会となりました。

先ず基調講演で、日本医療マネジメント学会長野支部長の宮田和信先生が「平成28年診療報酬改定の背景」をテーマ



会場風景

にご講演いただき、続いての特別講演では組合立諏訪中央病院院長補佐の山中克郎先生から「これからの医療を語る」をテーマに、また招聘講演では、国際医療福祉大学大学院教授の武藤正樹先生に「2025年へのカウントダウン～地域医療構想と診療報酬改定～」と題してご講演いただきました。

また、ブリストル・マイヤーズ(株)協賛によるランチオンセミナーでは、山梨大学准教授・医学部附属病院肝疾患センター長の坂本 穰先生から「B型肝炎のマネジメントと再活性化の話題」をテーマにご講演いただき、参加された方と意見交換をされました。

午後の一般演題では、多くの病院からご参加いただき、19の演題について「地域医療連携」「在宅、看護、薬剤」「医療安全、医療の質など」の三セッションに分かれ充実した報告をいただき、活発な意見交換が行われみのり豊かな学術集会になりました。これもひとえに、皆さんの多大なご協力によるものと深く感謝を申し上げます。

忙しい業務のさなかにご参加いただいた各病院の皆さんに、この場をかり心から感謝申し上げるとともに、本学術集会開催に際しまして、何かと不行き届きの点多々あったことと存じますが、ご容赦いただけますようお願い申し上げます。

第13回山形県支部学術集会

学術集会会長：山形市立病院済生館

山形市病院事業管理者(館長事務取扱) 平川秀紀



会場風景

第13回日本医療マネジメント学会山形支部学術集会が7月16日(土)に山形市立病院